

今年、ウンケーは8月6日。ウーライは8日です。年に1回、亡くなられた人たちをわが家のお仏壇にウンケーして、家族みんなで感謝した後、またウーライします。

お仏壇にはちょうどちゃんとカウージ（サトウキビ）

は亡くなられた人たちがいる目印なんだね。ウージは飾られます。ちょうどんは、飛行場にある滑走路のライトのような意味があるんだって。「ご先祖様、こっちだよ」って感じで、わが家のお仏壇にちゃんとお迎えできるようになります。

年に一度先祖を迎える感謝

ハイサイ！ 今回のティー（お盆）したとき、お皿の中に分けて食べるから、分ける皿で「盆」と呼ばれるようになつたつていう人がいます。

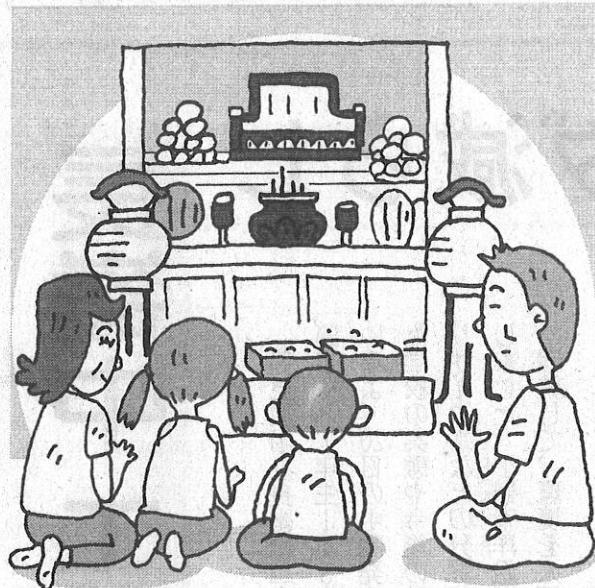
本当はその昔、中国の盂蘭盆会という年中行事を、

日本では短く「お盆」と呼んだことがきっかけになつてゐるんだって。今から2

500年前、目連さまといふとてもえらいお坊さんが、餓鬼道という迷いの世界で苦しんでいた、自分のお母さんを助けたことから

始まっています。

さて、沖縄では、お盆で



向こうの世界にお帰りになるときに使う、とても頼りになるつえをプレゼントするような意味があるんだつて。

イッペー チビラーサン

（とても素晴らしいね）！

ところで帰依住職は、

チヨンダラー（京太郎）

です。お盆に踊られるエイサーのとき、太鼓をたたく

細長いバチがあるでしょ。あれは、サンをイメー

ことば

の年中行事 講師

（帰依龍照 球陽寺住職、タイムスカルチャーセンター「基礎から学ぶ沖縄の年中行事」講師）

帰依住職がチヨンダラーやってていると、たまに勢いあまた二イニイたちに、バチでたたかれることがあります。これが本当の「バチが当たる」だつたりして。おいおい、おれはマジムソじやねえつづけあります。これが本当に「バチが当たる」だつたりして。おいおい、おれはマジムソじやねえつづけあります。

繩ではサンは刀とも考えられています。つまりバチで太鼓をたたくということは、刀を振り回しながら、亡くなられた人たちをマジムソから守っていることにもなっているんだって。

マジムン…魔物、悪魔。サン…ススキなどを結んだ魔よけの道具。桑を加える地域もある。